

【魂の寿命】

- 魂の寿命は、『神』に気に入られている魂ならば永遠ですが、そうでない場合は2万～3万年位です。

5

【『神』が人間を自由に変えられない理由】

- 神々の魂も、人間の魂も、大きさは違うけれど“同質”なので、『神』であろうとも人間を自由に変えることはできません。

10

【生霊とは】

- 肉体を持った人でも誰かに強い^{そうねん}想念を持つと、本人の魂が同時に多数の場所に影響を与える事があります。この状態を生霊^{いきりよう}と言います。

15

気になる相手に対して、本人の魂が無意識のうちに生霊^{いきりよう}となって邪魔をしに行ったり、また、助けを求めに行ったりすることがあります。

邪魔をする理由は… ①恨み^{うらみ} ②片思い ③やっかみ ④金銭トラブル など。

【高次元な対話法】

20

- 魂の世界に距離はないので、気になる相手の魂に直接呼びかけて、相手に影響を与えることができます。

- 相手の魂には、自分の本音や直接言いにくい事を伝えたり、お詫びをする事が出来ます。そうすることによって、直接相手に会ったときにスムーズに対応できるようになります。例えば、ちょっとした勘違いから仲違いしてしまった友人に対して、友人の魂に誤解の説明をして謝罪をすることによって、次に友人と直接会った時にスムーズに仲直りができるのです。

25

方法

目を瞑って、気になる相手を目の前にイメージして呼びかけます。

その時、相手の表情^{うかが}を伺うことで、自分に対する印象を知ることができます。

イメージする相手が笑顔をしない場合は、自分の事を良く思っていない事になります。

30

★ 魂の対話術のポイント

『神』に波調を合わせてから、“こういう目的でこうさせて下さい。”と行いましょう。大事なことは、① しっかり『神』に祈って、② 目的をはっきりさせることです。相手を褒めて、イメージする相手の顔がニコニコしてきたら、用件を言いましょう。

35

※ 1回目に成功したからといって、次に行うとき慢心してしまい、『神』と波調を合わせずに行うと、邪霊に操られてしまいますので、注意しましょう。

40

興味本位で行なうことも、同様です。

必ず『神』に波調^{はちよう}を合わせてから行いましょう。※波調を合わせる方法《12P》ただし、霊力^{れいりよく}が未熟^{みじゆく}な方（霊格^{れいかく}が低い方）が意識^{めいしちう}を瞑想状態にするのは危険です。